

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会
事務局 大石 直豪

第 35 回 技術広報委員会議事録

1. 開催日時 令和 7 年 5 月 16 日（金） 10 時 00 分～11 時 20 分

2. 開催方法 リアル・オンライン併用開催
①リアル：JGMA 事務局会議室
②オンライン：テレビ会議ツール「Zoom」

3. 参加者 (敬称略)

委 員 長	広滝 隆行（オンライン）
副委員長	岩上 智一（オンライン）
委 員	荒木 勇輝
同	加藤 好広（オンライン）
同	山下 俊哉
同	松村 孝（オンライン）
同	松島 誠二
同	石田 康平
事 務 局	大石 直豪
代 理	井上 直治（森本委員代理）

合計 10 名

欠 席	清水 壺浩
同	鬼頭 賢吾
同	竹中 史朗

議事経過

事務局より開催宣言および出欠状況の報告の後、広滝委員長から「今年度は水道用鉄蓋工業会と統合し、HPを見直ししているので会員社社内や取引先にも紹介いただきたい。また、水道用鉄蓋の技術に関係するものは当委員会に水道分科会を設置するため、水道用鉄蓋に関する学習や情報を整理し委員各位へ共有する。また八潮市の道路陥没事故に関して国交省が対策検討委員会を設置し5回程委員会が開催されており、公開された資料によるとマンホール蓋のサイズについても見直すことを検討すべきとの議論も交わされていることもあり、技術的にも中長期的な視点をもって注視し維持管理需要の創出に寄与していきたい。」と挨拶があった。

この後、審議に入った。

第1号議案：令和7年度 委員会活動計画の共有について

広滝委員長より前回の定例委員会で示された計画に加えて、6月17日の社員総会で報告予定のPPTに基づき詳細な説明があった。

続けて、令和7年度 下水道用管路資器材研修会の概要について、確定した開催日時、場所について事務局より詳細な説明があった。

更に、屋内講演（座学）での講師について検討が行われ、以下のとおり決定した。

- ・10月2日（木）福井市会場：広滝委員長
- ・10月3日（金）大阪市会場：岩上副委員長
- ・10月6日（月）浜松市会場：事務局（大石）
- ・10月7日（火）名古屋市会場：事務局（大石）

その後、質疑を募ったが特に無く、第1号議案を終えた。

第2号議案：HPのアクセス状況について

事務局より、議案書に基づき令和6年度累計のアクセス状況と、令和7年度4月単月の詳細なアクセス状況について、詳細な報告があった。

その後、質疑を募ったが特に無く、第2号議案を終えた。

その他：当工業会のパンフレットの更新について

委員長と事務局より、当工業会が4月から水道用鉄蓋工業会（WIRA）と統合したこと、従来の当工業会のパンフレットに記載した情報が古くなっていたこともあり、会長や各委員長、広報室長と事務局で議論し素案を固めたパンフレット改正（案）について、詳細な説明があった。

また、6月17日（火）に開催される社員総会で改正したパンフレットをお披露目すると案内があった。

その後、質疑を募ったところ以下の意見があり修正することになった。

- ・裏表紙のQRコード表示位置を、HP URLの横に配置し高さを合わせた方が良い。

以上により、本日の議案審議のすべてを終了した。

閉会挨拶

岩上副委員長より、「本日共有された取組むべき事項は会員や委員が協力し着実に進めていく必要があるので引き続きの協力をお願いしたい。」と閉会挨拶があり、本日の委員会を終えた。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

令和 7 年 5 月 16 日

一般社団法人

日本グラウンドマンホール工業会

技術広報委員会委員長 広滝 隆行

広
滝